【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公表番号】特表2020-526968(P2020-526968A)
【公表日】令和2年8月31日(2020.8.31)
【年通号数】公開・登録公報2020-035
【出願番号】特願2020-500079(P2020-500079)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　12/755　(2013.01)
Ｈ０４Ｌ　29/08　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　12/755
Ｈ０４Ｌ　13/00　３０７Ａ
Ｇ０６Ｆ　13/00　５１０Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和2年8月24日(2020.8.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
通信チャネル実施のための、遠隔ノード発見、および複数のキュー・ペアを結び付けることのためのプロセッサによって実施される方法であって、
複数のノードの間で１つまたは複数のポイント・ツー・ポイント・リンクを接続すべく複数のハードウェアを準備すること、
発見プロセスを通じて前記１つまたは複数のポイント・ツー・ポイント・リンク内で前記複数のノードを発見すること、
前記複数のノード間に複数の管理トラフィック・レーンを作成すること、
前記複数のノード間の複数の接続を検証すること、
前記複数の接続上で１つまたは複数の補助的トラフィック・フロー・インターフェースを開始すること、
前記複数の接続のための複数のバッファをネゴシエートし、かつ接続すること、および
前記複数のノードの間で複数のノード記述子を交換すること
を含む方法。
【請求項２】
デバイス・ドライバ層内で実行される、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
複数のノードの間で１つまたは複数のポイント・ツー・ポイント・リンクを接続すべく複数のハードウェアを準備することが、
前記複数のハードウェアから複数のバッファ・リソースを前もって確保することをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記複数のハードウェアから前記複数のバッファ・リソースを前もって前記確保することが、単一ルート入力／出力仮想化インターフェースを使用して行われる、請求項３に記載の方法。

【請求項５】
前記複数のハードウェアからの複数のバッファ・リソースの確保が、１回、行われる、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
チャネル初期設定アービタ機能を利用して、前記複数の接続内の複数のチャネルのすべてが初期設定されていることを確実にすることをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記複数のバッファをネゴシエートし、かつ接続することが、４ステップのキュー・ペア接続プロセスを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
請求項１～７の何れか１項に記載の方法の各ステップをコンピュータ・ハードウェアによる手段として構成した、コンピュータ・システム。
【請求項９】
請求項１～７の何れか１項に記載の方法の各ステップをコンピュータに実行させる、コンピュータ・プログラム。
【請求項１０】
請求項９に記載の前記コンピュータ・プログラムをコンピュータ可読記憶媒体に記録した、記憶媒体。